

### 文化財情報資料部報（令和二年度）

異 動（令和三年四月一日付を含む）

文化財情報資料部文化財情報研究室長二神葉子は、令和二年十月一日付で独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター併任となった。

文化財情報資料部研究員小山田智寛は、令和二年十月一日付で独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター併任となった。

吉田暁子は、令和三年四月一日付で文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室研究員に新規採用された。

#### オープンレクチャー

第五十四回のオープンレクチャーは、「かたちからの道、かたちへの道」をテーマに掲げ、研究所セミナー室において左記の通り開催された。

十月三十日（金）

近代日本画の「新古典主義」―小林古径の作品を中心に― 塩谷 純  
タイに輸出された日本の漆工品

―王室第一級寺院ワット・ラーチャプラディットの漆扉を中心に― 二神 葉子

#### 研究会

六月二十三日 近代の大札と有職故実 田中 潤

七月二十八日 江戸初期狩野派史料の研究―探幽縮図を中心に― 小野真由美

八月二十五日 ゲッティ研究所が所蔵する矢代幸雄と画商ジョセフ・デュヴィー  
ンの往復書簡 山梨絵美子

十月八日 近代美術研究における関係資料の発信と活用 丸川 雄三

十一月二十四日 初期洋風画と幕末洋風画、形を変えた継承  
―日本における油彩技術の変遷と歴史的評価の検証―

東洋美術学校 武田 恵理

十二月二十一日 屋外彫刻を中心とした「文化財」ならざるモノの保存状況について

の報告と検討―シンポジウム開催を見据えて― 野城今日子  
一月二十八日 上野直昭資料について―日本美術史との関係を中心として  
神奈川大学国際日本学部 大西 純子

上野直昭資料から発見された高裕燮直筆原稿について

五島美術館 田代裕一朗  
二月二十五日 片野四郎旧蔵の羅漢図について―図様と表現の考察― 米沢 玲

三月二十五日 片野四郎旧蔵「羅漢図」の近代における一理解 安永 拓世  
白馬会の遺産としての『日本美術年鑑』編纂事業 山梨絵美子

#### 刊行物

『宮内庁三の丸尚蔵館所蔵 春日権現験記絵 巻九・巻十 光学調査報告書』  
令和三年三月三十一日

『タイ所在日本製漆工品に関する調査研究  
―ワット・ラーチャプラディットの漆扉―』 令和三年三月三十一日

『東京文化財研究所 研究報告書 売立目録デジタルアーカイブの公開と今後の展望  
―売立目録の新たな活用を目指して―』 令和三年三月三十一日

データベース

売立目録作品情報 令和三年一月

斎藤たま 民俗調査カード集成 令和三年二月

久米桂一郎日記 令和三年三月